



# ぼうさいあいち

会報 31 号 (秋だより)

発行日 令和 5 年 9 月 1 日

特定非営利活動法人  
愛知県防災士会

## 「災害は忘れた頃に・・・」

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は愛知県防災士会の活動に格別なご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大も落ち着き、新しい日常生活を取り戻し、「令和 5 年度 NPO 法人愛知県防災士会 通常総会」を通常通りに開催する事が出来ました。

会員の皆様より、貴重なご意見等を頂き、今後の活動に役立てて参りたいと思っております。

さて、9 月 1 日は「防災の日」、1923 年 9 月 1 日に発生した関東大震災から今年で 100 年を迎えます。「災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する」ために、1960 年に制定されました。

わが国では、関東大震災をはじめとして数々の大規模災害に襲われ、尊い命が数多く失われてきました。突然起こる自然災害の発生を止めることは出来ません。

関東大震災を体験した寺田虎彦の「天災は忘れた頃にやってくる」という警句があります。私たち防災士はこの言葉をしっかり受け止め、起きた災害を忘れることなく、災害に対処するのではなく、日頃から災害に備え減災に努めていく事です。

今後、愛知県防災士会では 10 月中旬に日帰り研修、来年 2 月頃にスキルアップ研修を予定しております。詳細については後日連絡をさせていただきますので、多く方の参加をお待ちしています。

今年度も、愛知県防災士会は地域防災を展開し、多くの方に災害時の防災意識を高める啓蒙活動を続け、皆様と共に進んでまいりますのでご支援・ご協力をお願いします。



NPO 法人  
愛知県防災士会  
理事長 寺島 一徳

### 会報 31 号 目次

P1…理事長挨拶 P2…岡崎市ファミリーフェスタ中総 2023 P3、4…防災士フォローアップ研修会  
P5…防災センター祭りに参加 P6…三河地震見学研修旅行のご案内 P7…関東大震災から 100 年の  
節目に考える P8…防災アドバイザーの紹介/事務局からのお知らせ P9…NHKスクープBOX

# 「岡崎市ファミリーフェスタ中総 2023」ブース出展

日時 : 令和5年5月5日(金・祝) 10:00~16:00

場所 : 岡崎市中心総合公園 総合体育館前駐車場

参加者 : 大人子供合わせて 60名

スタッフ : 4名+ぬりえ製作者2名

催し : 防災ぬり絵©(オンライン防災様提供)



5月5日は、当初雨天の予定でしたが、当日は晴天に恵まれました。風が強く屢々物が風で飛ばされてしまうほどでした。

お子様連れの来場者がほとんどで、私たちのブースにもほとんど切れ間なくぬり絵をする子供たちで盛況でした。

ブースでは、付き添いの大人と一緒に子供たちに地球のぬり絵に地殻の境界線を赤色の色鉛筆で線を撫沿ってもらい日本が4枚の地殻プレートの上にあること南海トラフの位置などを学んでいただきました。

その後、地震や津波が来た時に非常持ち出し袋の事を話し、ぬり絵に色鉛筆で色付けし、リュックに入れる物を一緒に考えて、持ち出し品に色を塗り、切り取ってリュックの内側に張って貰いました。家に帰って非常持ち出し袋を用意しますと言われる方が多く、防災意識が向上したと思えました。



取材担当 大塚 正寿



# 「防災士フォローアップ研修会」参加者レポート

日時 : 令和5年7月15日(土) 13:15~16:40

場所 : 名古屋市港防災センター

参加者 名古屋中根郵便局長 中村 剛也

気温 35 度という猛暑日の中、フォローアップ研修に参加してまいりました。二部構成の研修内容となっており、前半は名古屋市港防災センターにて震度 7 クラスの地震や、煙からの避難などの災害疑似体験をさせていただき、後半は防災士として必要な知識を得るための講習を受けてきました。

当日は 3 連休もあってか、子供連れの家族も来場している中、「地震体験室」「伊勢湾台風 3Dシアター」「煙避難体験室」などを体験する事ができ、係りの方のわかりやすい説明もあり、大変楽しく参加させていただきました。

特に「地震体験室」は震度 7 クラスの揺れを再現しており、実際に泣いてしまう子供もいるほどの想像以上の揺れで、シミュレーションとわかっていても恐怖を感じ、いざ本当に地震が来たら何ができるのだろうか・・・と改めて地震の怖さを認識いたしました。

防災センター内には救急車両や救助ヘリの模型が置いてあったり、昭和を感じるレトロな雰囲気もあつたりと、親子で楽しく体験できる場となっているので、特に小さなお子様のいるご家庭の方は遊びがてら来場してみてもはいかがでしょうか？

後半の座学においても日本防災士機構の方々から、防災士となってから何をすべきか、災害時の心構えなど、実際の経験談を交えた貴重なお話を聞くことができ、大変有意義な一日を過ごすことができました。



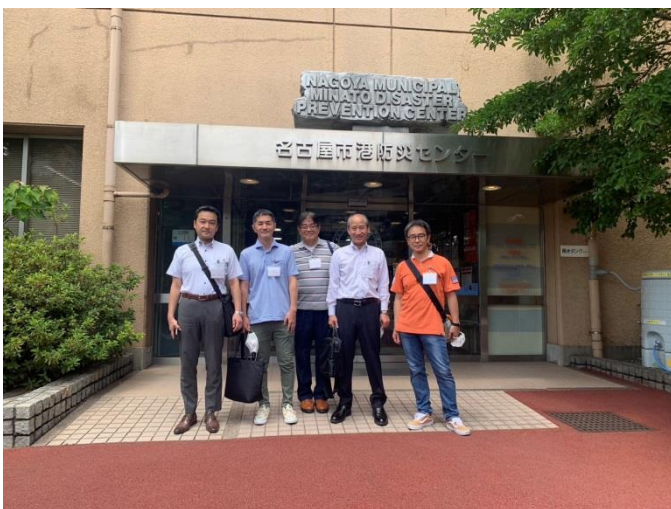
参加者 名古屋砂田橋郵便局長 神谷 滋樹

二回目の参加となります。地震体験では地震が起きた室内を体験でき、ダンゴムシのポーズで耐えましたが、膝が痛くなるほどで、地震の揺れの凄まじさを感じることができました。3D体験では伊勢湾台風で被災した家族を主観で体験でき、怖がる子供の声が我が子の声のように聞こえてきました。煙避難体験は火事の起きた室内からの脱出を体験ができましたが、暗さと煙で本当の火災だったと思うと本当に怖いと思いました。座学では江原総括監から最近の風水害の特徴と対策をご教授いただき、小黒総括監からは過去の震災事例と災害後の活動要領を具体的にご教授いただきました。どちらの講義からも防災士として期待される活動を知ることができました。



「ペーパー防災士なんだよ(笑)」ある時、防災士証を局の社員さんに見せた時に、私が発した言葉です。今回の研修を通じ、災害の恐ろしさを改めて実感し、防災士として期待される活動を再度ご教授いただき、そんな言葉を発してしまった自分が恥ずかしくなりました。

防災士となった以上、常に災害が起きた時のことを考え、準備し、周りに発信していかなければなりません。そんな基本に立ち返る良いきっかけとなった有意義な研修でした。



取材担当 槌岡 宏行



## 防災センター祭りに参加

日時：令和5年7月23日（日）10:00～15:00  
場所：名古屋市港防災センター  
講師：愛知県防災士会 副理事長 手塚 哲郎  
補助者：大塚 正寿 原田 友子

名古屋市港区の名古屋港防災センターで「防災センターまつり」が開催され、愛知県防災士会ブースを開設、当日は夏休みの親子連れで大変にぎやかで【地震体験マシン】では大きな声が上がっておりました。

愛知県防災士会のコーナーは、名古屋市公認防災キャラクターの「そなえ・まい」さんの隣で、特に小さなお子さん連れが多く、子供さんが塗り絵をしている間の親御さんにロープワークと災害時の備えについての説明等をして、自助の大切さをお話ししました。満員御礼の大盛況でした。

参加者の若い方で「防災士にチャレンジしたい」との声があり、防災士のリーフレットをお渡ししました。愛知県防災士会のPRにもなった1日でした。



記事担当 原田 友子

# 三河地震見学研修旅行のご案内

日時：令和5年10月21日（土）名古屋駅西口時計塔前 8時10分集合 8時30分出発  
帰宅予定 名古屋駅西 18時頃

行先：三河地震見学・昼食：蒲郡オレンジパーク 0533-68-2321

参加費：1名 5,000円 定員40名

日程：名駅西口→名古屋高速→岡崎→深溝断層→本光寺→蒲郡オレンジパーク（昼食）→  
宗徳寺→カクキュー八丁味噌→岡崎→名古屋南→名古屋高速→名古屋駅西口 17：30頃

## <見学先>

### 1 深溝断層・県指定天然記念物

額田郡幸田町深溝小井文9 0564-62-1111

最大落差 1.5m・左ずれ水平位 1m

■所用時間：30分



### 2 曹洞宗瑞雲山 本光寺・国の史跡・島津藩主深溝松平家墓所（紫陽花寺）

地震での土塀の跡（地震からそのままの状態）

額田郡幸田町深溝字内山17 0564-62-1626

ガイド：住職 地震法話30分

■所用時間：1時間



### 3 日蓮宗三ヶ根大黒天圓妙山 宗徳寺・地震での地割れ 41m、隆起 1.5m持ち上がる。

蒲郡市一色町狭間20（市の天然記念物）

ガイド：住職 地震法話30分 0533-57-2949

■所要時間：1時間



## 4 <申込先>

NPO法人愛知県防災士会

理事研修委員長 小塚達也 [メールアドレス gogobousai@gmail.com](mailto:gogobousai@gmail.com)

※参加の方は、上記アドレスへ住所、氏名、防災士登録番号、電話番号、アドレスを送信下さい。（参加費は、当日納付ください）

## 5 <締切日>

令和5年9月10日（日）迄にお願いします。

## 〈 関東大震災から100年の節目に考える〉

今年には1923年（大正12年）に発生した関東大震災から100年の節目に当たる。その発生日である9月1日が「防災の日」と定められているように、近代日本における災害対策の出発点となっている。

首都圏直下地震や南海トラフ地震、日本海溝など大規模災害リスクに直面する現在の私たちに大変参考になる教訓を与えています。

相模湾北西部を震源とするM7.9と推定される関東大震災は 北海道から中国・四国地方にかけての広い範囲で震度6から震度1を観測し、10万棟を超える家屋を倒壊させた。また地震発生が昼食時間とかさなったことから、多くの火災が発生して大規模な延焼火災に拡大した。

この地震により被害を受けた住家は37万棟にのぼり死者行方不明者は10万5千人に及ぶなど、近年の大災害と比べてもその被害規模と社会的・経済的インパクトは極めて大きかった。

- 1923年（関東大震災）西暦末尾「3」と同年の大規模災害を見てみると～
- 1703年（元禄地震 M8.0 死者6700人以上、太平洋沿岸）
- 1783年（浅間山大噴火、死者千人を超える）
- 1943年（鳥取地震、M7.2 終戦にかけて4年連続で千人を超える死者を出した4大地震の最初地震）
- 1983年（日本海中部地震、M7.7 日本海を中心に大津波が襲う）

など歴史に残る大きな災害が多い訳ですが、特に元禄地震（1703年）の4年後に起きた宝永地震（M8.6）はその49日後の富士山大噴火を誘発して2週間にわたり江戸の町にも大量の火山灰が降り、昼間も暗くなりローソクを灯さねばならなかったという。

以来富士山は現在に至るまで約300年噴火していませんが、過去のデータからすると噴火回数は180回を超えていて、平均して30年に1回噴火したことがわかっています。

襲来が予測される東海・東南海地震、選定された火山への噴火警戒、環境変化による自然災害の激甚化と最新の災害対処方法など、どの分野にどのように関わり、意識を持続して行くか経年変化の防災士としては悩ましいところです。

尚、名古屋地方気象台が現在の地で開業してから今年（2023年）で100周年を記念して特設サイトを開催している。

日本赤十字社愛知県支部と名古屋地方気象台が共同で横田教授（愛知工業大学地域防災センター）監修のもと、一人でも防災学習ができる「ちょこっと防災（地震編・積乱雲編・台風編・津波編・火山編）」を公開しているのでアクセスしてみてください。

令和5年8月15日  
コラム寄稿者 宮澤 昌嗣



## 令和5年度防災アドバイザーの紹介

本年度の防災アドバイザー8名を紹介します。(50音順)

伊藤 知恵様	名古屋ブロック	名古屋市
大塚 正寿様	名古屋ブロック	名古屋市
小塚 達也様	名古屋ブロック	名古屋市
近藤 斎様	西尾張ブロック	一宮市
広瀬 一行様	西尾張ブロック	稲沢市
松川 哲文様	名古屋ブロック	名古屋市
山田 伸治様	海部ブロック	愛西市
若月 徹様	東尾張ブロック	豊明市



## 事務局からのお知らせ

昨年度からブロック活動強化のため、名簿開示に同意をいただいた会員の方にブロック別名簿を作成しお送りしています。今後も連携を強化するため、名簿開示のお知らせを継続してまいります。名簿開示にご同意いただける会員の方は①ご住所②お名前③メールアドレス④電話番号の内、開示できる項目を下記の事務局までお知らせください。

また、会員の方からは「他ブロック会員の情報もほしい」という声もあり、該当ブロックへの名簿開示にご承諾をいただいた会員様に限り、名簿をお送りさせていただきます。詳しくは下記のお問い合わせ先にご連絡をお願いいたします。

なお、名簿は重要な個人情報ですので、お取扱いには十分にご注意いただくことを合わせてお願い申し上げます。

令和5年度通常総会において、ご質問をいただきました「NHKスクープBOX」について、次ページに投稿手順を掲載しましたので、災害情報のご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先  
事務局 槌岡 宏行  
TEL 090-6077-8313



NPO 法人 愛知県防災士会  
広報委員会 編集

〒453-0013

名古屋市 中村区 亀島 1丁目 11-14

東特会館内



# NHK スクープBOX 投稿の手順について

NHK名古屋放送局 報道部・映像取材



NHK スクープBOX

- 準備**
- ▼スマホで「スクープBOX アプリ」と検索し、公式アプリをインストール。
  - ▼検索ページで「スクープBOX」と検索するか、QRコードで読み込めば、アプリがなくてもホームページから投稿可能です。

- 撮影**
- スマートフォンや携帯電話をヨコ向きにします。  
動画または静止画を撮影して保存してください。  
※投稿テストでは動画を10秒程度撮影してください



撮影する時は画面を横向きに撮影してください。

**撮影は「安全第一」をお願いします！**

## 投稿

1. トップ画面の「投稿する」をタップし、以下の項目を入力。

(タイトル) 冒頭に必ず「**防災士 名古屋局 (内容)**」を入力

例:「防災士・名古屋局 @@市の被害」など

※投稿テストの場合は、冒頭に「テスト」も明記。

(お名前) 投稿者ご本人の氏名(「**愛知県防災士会**」など所属も)

(メールアドレス) ご本人のメールアドレス

(電話番号) 携帯電話番号など、必ず連絡が取れる番号を入力

(都道府県) 撮影した県を選択 ※「**現在位置情報を送信**」も可

(内容) 撮影日時や、具体的な撮影場所、撮影内容を記入

**※すべてを入力しないと送信できません**

2. 「投稿するファイルを選ぶ」をタップ ⇒ 撮影したファイルを選択

3. NHKインターネット利用規約、個人情報保護方針に同意のチェック

4. 画面下部の「投稿する」をタップ

→「投稿映像を受信しました！」と表示されれば、投稿完了

## 注

- ① 映像は、複数のファイルをまとめて1回の投稿で送ることもできますが、**10～15秒程度のファイル1つでもOKです**。撮影時間が長かったり、ファイル数が多かったりすると電波の回線状況が悪い場合、投稿に時間がかかることがあります。
- ② アプリTOP右下の「メニュー」⇒「設定」⇒「投稿者情報」で登録を行うと、次回から、お名前・メルアド・電話番号の入力を省略できます
- ③ 実際にニュース映像を撮影し・投稿した場合は、**名古屋局報道部 映像取材** までご連絡をお願いします。  
(電話 052-952-7233)

みなさまから投稿していただいた動画などは、NHKのニュース番組やNHKのインターネットサイトなどで利用させていただきます。

